

目 次

I	調査研究目的	1
II	調査研究内容	1
1	調査研究項目	
2	研究体制	
III	アジア太平洋地域の博物館の現状	
1	アジアの博物館の概要	3
2	中国の博物館の現状	10
3	韓国の博物館の現状	15
4	ラオスの博物館の現状	21
5	フィリピンの博物館の現状	29
IV	博物館の国際交流を担う人材の発掘、国際対応できる人材育成に関する 基礎データの収集・分析	
1	日本の現状	38
2	文部科学省	41
3	文部科学省主催「学芸員等在外派遣研修」について	44
4	文化庁	53
5	国際協力機構	62
6	国際協力機構主催「集団：博物館学集中コース」について	73
7	国際交流基金	84
8	国際交流基金主催「アジア次世代美術館キュレーター会議」について	88
9	美術館連絡協議会	93
10	全国科学博物館協議会	95
11	全国科学館連携協議会	101
12	日本ミュージアム・マネジメント学会	103
13	かながわ国際交流財団	105

V	日本とアジア諸国の博物館交流事例の現状調査・比較検証	
1	姉妹館提携等交流の現状.....	1 0 9
2	中国の博物館との交流連携事例.....	1 1 8
3	韓国の博物館との交流連携事例.....	1 3 1
4	博物館関連学会を通しての交流連携事例.....	1 3 9
VI	人材開発やアジア太平洋地域の博物館（職員）にとって求められている	
	教育研修プログラムの分析	
1	ICOM・ICTOP（国際博物館会議・研修国際委員会）の概要.....	1 4 0
2	ICOM・ICTOP（国際博物館会議・研修国際委員会）のカリキュラムガイドライン.....	1 4 0
VII	博物館連携活動の現状と展望	
1	ASEMUS 総会の報告.....	1 5 1
2	日中韓博物館円卓会議の開催及び報告	
	(1) 背景と趣旨.....	1 5 9
	(2) プログラム.....	1 6 1
	(3) 基調講演「アジアにおける美術館の連携と国際交流」.....	1 6 2
	(4) ラオス「ラオスの博物館政策」.....	1 6 2
	(5) 韓国「ICOM - ASPAC 大会に向けての日本の貢献.....	1 6 2
	(6) 中国「寧波宣言と ICOM 上海大会」.....	1 6 9
	(7) パネルディスカッション.....	1 7 6
	「中国の動向と韓国の動向から学ぶこと、今、私たちは何をすべきか？」	
3	フランス国立文化財研究所の報告.....	1 7 9
4	UNESCO 博物館・文化財担当訪問の報告.....	1 8 1
5	ピーター・ファン・メンシュ / ラインワルト・アカデミー教授夫妻の 取材報告.....	1 8 2
6	パリ市内博物館視察.....	1 8 4

VIII	提言	
1	「人材育成研修制度確立のためのアジアネットワークの構築 - 韓国と日本の人材育成を考える- 」	188
2	「日中韓博物館連携と協働研究に向けて」	192
3	「国際間の博物館連携を実効あるものとする博物館専門職員の人的 ネットワークの強化策と持続的連携の仕組みづくり」	195
IX	今後の課題	198
X	執筆者分担一覧表	201
XI	参考資料	
1	国立博物館における中国・韓国国際交流事例 平成18年度～平成15年度	205
2	中国事情	
	(1) 博物館ブーム・博物館学・博物館文化 - 博物館発展のキーワードは博物館人 -	240
	(2) 博物館史研究：中国30年来の進展	249
	(3) 中国の博物館はどこに向かっているのか	255
	(4) 博物館教育機能の最適化分析	264
	(5) 全国博物館評価方法（試行）博物館評価基準点数表（修訂）	270
3	ICOM（国際博物館会議）関係機関一覧	295
4	ICOM アジア太平洋委員会（ICOM-ASPAC）国内委員会一覧	299
5	アジア太平洋地域 博物館協会一覧	307